

## 令和4年度 内閣官房「地方版官民連携プラットフォーム推進事業」実施報告

### 1. 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会

北九州市孤独・孤立対策等連携協議会では、

- (1) 行政・支援者同士がつながり、連携を深め、支援活動の輪を広げる。
- (2) お互いの「組織、目的、事業内容、団体の強み、困っていること」等を連携できるレベルまで知る。

ことを目指し、各団体の事例発表や、ケーススタディなど、行政・支援者同士の連携を深め、支援活動の輪を広げるための場となるような内容で開催している。

今回の内閣官房の事業においては、国が地方におけるプラットフォームの整備を後押しすることで、孤独・孤立対策について関係団体の連携強化を迅速に実現していくと同時に、地域の実情に応じた効果的な連携の進め方について様々な例示を行い、全国への波及を進めることで地方自治体の取組を強化することが目的であった。

そのため、全国的にも先行して官民連携プラットフォームである北九州市孤独・孤立対策等連携協議会を立ち上げて活動している北九州市の取り組みを、「地方版官民連携プラットフォーム推進事業」の一環として国に報告した。

#### 【これまでの北九州市孤独・孤立対策等連携協議会】

- ◆ 第1回 令和4年2月18日
  - ・ 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会について
  - ・ 「関係団体の連携を目指して」意見交換
- ◆ 第2回 令和4年6月30日
  - ・ 団体の活動紹介冊子の配布について
  - ・ 生活困窮者支援に取り組む団体等支援事業について
- ◆ 第3回 令和4年12月13日
  - ・ 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業について
  - ・ 「お悩みハンドブック北九州市版」の公開について
  - ・ ケーススタディ テーマ：「男性介護者の孤独・孤立」
- ◆ 第4回 令和5年3月28日（本日）
  - ・ 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業の実施結果について
  - ・ 事例を通じた相互理解・連携推進  
非行少年立ち直り支援について  
ケーススタディ～困難を抱える若者の支援～

## 2. 北九州市 孤独・孤立対策 支援者向け研修会

介護・看護、子ども、貧困、障がいなど、普段様々な支援活動に携わっている方々の普段の活動の中に、孤独・孤立の問題の予防につながるちょっとした気付きや新しい視点を取り込んでいただくきっかけになるよう、幅広い分野の研修会を開催。

### ◆ 開催日

令和5年2月8日、9日、10日の3日間

### ◆ 参加者

- ・ 1日目 53名
- ・ 2日目 60名
- ・ 3日目 48名

## 3. 孤独・孤立対策に関する講演会

孤独・孤立の問題を自分事として捉え、この問題に対する正しい理解の促進を図るため、互いの見守り活動事例や買い物支援の取組事例を共有し、つながりを深める「いのちをつなぐネットワーク推進会議」において、内閣官房孤独・孤立対策担当室の大西連政策参与（認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい）理事長）をお招きし、「孤独・孤立対策講演会」を実施。

### ◆ 開催日

- ・ 令和5年2月13日

### ◆ 参加者

「いのちをつなぐネットワーク事業」に協力いただいている「見守り部会（82社・団体）」、「買い物支援部会（27社・団体）」

## 4. 人々のつながりに関する実態調査

北九州市における孤独・孤立に係る実態の全体像を概括的に把握するため、北九州市民を対象に、令和3年度に内閣官房が実施をした「人々のつながりに関する基礎調査」と同じ内容のアンケート調査を実施し、全国調査と比べた北九州市の傾向・特色などを把握する。

### ◆ 調査期間

- ・ 令和5年1月16日から令和5年2月6日

### ◆ 調査対象者

- ・ 北九州市民で満16歳以上の方から無作為抽出した7,000人

### ◆ 集計結果

- ・ 回答数 2, 179件 (回答率 31.1%)
- ・ 「孤独感がしばしばある・常にある」と回答した人 4.18%  
(参考 令和3年度 国調査 4.5%)

※詳細については現在集計中

## 5. 「北九州市版 お悩みハンドブック」のインターネット広告による周知

### ◆ 実施期間

令和5年2月8日から令和5年2月28日

### ◆ 実施結果

メディア	表示回数	クリック数	クリック率
合計	2,767,314	7,560	0.27%
 Google 広告 検索	3,592	357	9.94%
 Yahoo! 広告 検索広告	23,646	707	2.99%
 Facebook 広告	10,169	63	0.62%
 Twitter 広告	1,143,203	1,586	0.14%
 LINE 広告	1,586,704	4,847	0.31%

- ・ Google、Yahoo! 広告については、支援を必要としている当事者向けに、キーワード検索でヒットしたユーザーに対してお悩みハンドブックの広告を表示させたため、クリック率が高かったと考えられる。
- ・ Twitter、LINE は、ユーザー数が多いため表示回数を増やしたが、表示回数が増えた分クリック率は低くなっている。
- ・ 設定したキーワードや、お悩みハンドブックへの流入については現在詳細を分析中。

## 6. 北九州市におけるひきこもり等に関する調査

令和4年3月に実施をした「生活状況に関する実態調査」について再集計・精査を実施。結果については今後、ホームページで公表する予定。